

## 四万十街道ひなまつり・開催中！！



↑ポスターと手書きの地図↓



清流通信読者の皆様こんにちは！  
今回は四万十町と梶原町で開催されている、「四万十街道ひなまつり」のお知らせです。  
このイベントは身近にある文化財を保護・活用して地域の活性化につなげようと結成された四万十町大正の住民グループ「NPO 四万十アート」（代表・林三千子さん）が企画したもので、昨年が続いての開催。昨年は1カ所だけでしたが今回は町内各所と梶原町の松原地区の方からも協力の申し出があり約60ヶ所の民家や店舗などでおひな様やひな祭りにちなんだ品々を展示をしています。

初日の2月20日（水）、メイン会場の有形登録文化財旧門脇家住宅を訪れると5組のおひな様がそれぞれ違った表情でお出迎え。打ち掛け等と一緒にきれいに展示されていました。開催期間は3月31日（月）まで。

四万十町内でも近年開業が相次いだ農家民宿などに泊まって2日ぐらいかけて流域にある登録有形文化財などの史跡や沈下橋とあわせてポスターのキャッチコピーのように「春の陽ざしの四万十川でゆらりゆらりとひなめぐり」といった感じの散策をおすすめします。また3月15日（土）午後2時からメイン会場近くの福祉センターで土佐のおひねり一座による「四万十春の福笑い劇場」も開催されますので皆さんぜひお越し下さい。

詳しいお問い合わせは(社)四万十町観光協会（TEL0880-29-6004）へ。  
とりあえず、メイン会場の門脇家を訪れてパンフレットや手書きの地図をゲットしてからあちこち回ってみては如何でしょうか。



↑メイン会場の旧門脇家外観



↑屋内にはおひな様や着物などが展示



↑皆さんのお越しを待っています！

### トピックス

## 流域の山林を守ろう!! ～四万十樵養成塾・入門編～

当財団主催の森林ボランティア養成講座「四万十樵養成塾・入門編」を今月の9・10日と開催しました。受講（参加）者は5名。

この講座は過去に3回実施していて、いずれもチェーンソーを使った本格的な間伐作業を実習するといったものです。

今回は1泊2日の入門編ということで従来より短期間の講座でしたが、高知大学農学部林業学科の専門職員の方やこの樵養成塾を卒業した方が立ち上げた森林ボランティアグループ「四万十樵塾」の方達の協力を得て充実した内容となりました。

チェーンソーの基本的な取り扱い方などをマンツーマンでの丁寧な指導のもと参加者は真剣に受講。受け口の作り方や追い口入れから掛かり木処理まで、一連の間伐作業を実際に現場で木を切りながら体験・実習しました。受講者の中には、今後、流域の森林ボランティア活動に参加したいという方もいて、又一人、四万十川の守人が増えたことを大変ありがたいと思いました。



↑実際に山に入っでの間伐実習の様子